



秋田更生保護

第 73 号
発行所

秋田市山王7-1-2

更生保護法人
秋田県更生保護援助協会
(編集)
秋田県更生保護編集委員会
(題字)
小 熊 良 悦
(印刷)
(株)アクティス

令和3年1月1日現在
保護司数 664名

* 謹 賀 新 年 *

更生保護法人秋田県更生保護援助協会
理事長 小 畑 悟
更生保護法人秋田至仁会
理事長 加 藤 忠 輔
秋田県保護司会連合会
会長 柳 沢 和 子
秋田県更生保護女性連盟
会長 太 田 宥 子

N P O 法人秋田県就労支援事業者機構
会長 伊 藤 萬治郎
秋田県BBS連盟
会長 菅 原 大
秋田保護観察所
所長 佐々木 康 志

新年あけましておめでとうございます。
昨秋、保護司中央研修において当サークルは瀬戸山賞という栄誉ある賞を頂戴しました。身に余る光栄と思っております。
関係機関の皆さまにはふれあいサークルへ多大なるご支援を賜り衷心より御礼申し上げます。
十年前、二十二名の賛同を得て当サークルは立ち上がりました。刑務所等を出所した身寄りのない方からの「訪問してほしい」という要望に、会員が定期的に訪問するというシンプルな活動ですが、対象者に寄り添う会員一人ひとりの「温かさ」は当サークルの自慢でもあります。施設入居の方には「自分には面会者は誰も来ないから来て欲しい」という声にこたえ、年2回の外での楽しみ会では「子どもの頃過ごした場所を訪ねてみたい」「普段食べない刺身を食べてみたい」等の要望に応じています。訪問7年目を迎えた方からは「俺、こんなに長くシャバで生活したの初めてだ」という言葉がきかれました。励会員にとりましては何より嬉しく励



「誰一人取り残さない」社会の実現を

更生保護支援ボランティアふれあいサークル代表

千葉 恵 美

みになる言葉でした。活動の中で亡くなる方もおられ、納骨、墓参等もやらせて頂いています。

令和元年度から秋田県再犯防止推進事業の委託を受け、会員の企画で秋田駅での街頭広報、再犯防止セミナー（一般参加者百五十名）を関係機関の協力を得て実施しました。

この度の受賞は、これからも対象者へ心を尽くしなさいという叱咤激励を頂いたと思っております。活動が孤独防止や再犯防止に少しでも繋がる事ができれば望外の喜びです。ささやかな活動ですが、継続していきたいと思っておりますので、今後とも御支援の程宜しくお願い申し上げます。

〈瀬戸山賞について〉

法務大臣、文部大臣を歴任された故瀬戸山三男氏が、その後日本更生保護協会理事長等を就任される中で、更生保護事業の発展に大きく貢献された瀬戸山氏の功労を記念し、更生保護法人日本更生保護協会にて創設された賞。

更生保護関係団体の動き

秋田県更生保護援護協会

令和2年度当会研修会は、新型コロナウイルス禍の実施となりました。10月6日(火)、昭和の時代から50年余りにわたり大館市で保護司として尽された前秋田県保護司会連合会会長宮原文彌氏から、対象者が友達を連れてきたりしてその処遇に悩んだり、途方に暮れた少年に食事をさせたり、その後立派になつて家族への顔見せに來たりと、自身の家族総員で苦労しながら保護司を頑張つてこられた話でした。

同日、元秋田県知事小畑勇次郎記念館では「生涯教育」を掲げて県政に励まれた歩みも知ることができました。



篤志者寄附金の御芳名

当協会運営に對しましてご寄附を戴きました皆様、また普通會員・賛助會員の方々にはこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

一金 二十万円

櫻田 元宏 様

一金 三万円

曹洞宗保護司連合会秋田県支部 様

当協会から秋田至仁会・県内12地区保護司会へマスク及び手指消毒液を贈呈しました。

秋田県保護司会連合会

令和2年度サポートセンター運営協議会
本協議会は各地区に更生保護サポートセンター(以下、サポセン)が設置されてから初めての会議でしたが、コロナ感染予防対策のため人数を制限し、各ブロックに分けて実施されました。

各地区から他地区の運営について知りたいと兼ねてから要望があり本年試行的に開催しましたが、相互に理解を深める一歩になったと思います。今後、一層の運営充実に繋がれば幸いです。

協議内容は、企画調整保護司の推薦、サポセン設置地域や施設等の事情、サポセンを活用した保護司活動、面接場所の配置、面接中の企画調整保護司の対応、他団体との関わり、企画調整保護司の会議等について各地区保護司会から説明、情報交換して頂きました。更生保護活動・サポセン運営の活用になれば何よりと存じます。

結びに、開催にあたり秋田、大館、大曲地区保護司会の方々には準備等のご尽力に衷心より感謝申し上げます。

県央



県央ブロック: 11月10日秋田市文化会館

県北



県北ブロック: 11月17日大館市中央公民館

県南



県南ブロック: 11月24日大曲地区サポセン

秋 田 至 仁 会

入所者の強い希望から、八月三十日にタコ焼きをメインとした食事を十一名の入所者全員参加のもとレクリエーション行事として実施しました。メニューは、タコ焼きだけでは物足りないと考え、お好み焼きとデザートとして冷やし白玉ぜんざいを付けました。

当日に使う食材の購入や調理器具は職員が準備しました。また刃物を使うなどの下準備も職員が行いましたが、その他の準備は入所者が率先的に行いました。

食事会自体も、他の入所者のお好み焼きを焼いてあげたり、皆で協力し合い、片付けの際も自主的に役割分担をして行うなど、全員レクリエーション行事に満足した様子でした。



創立百二十周年記念

秋田至仁会は、明治三十三年九月一日、川村養助氏が秋田出獄人保護所を創設し、令和二年九月で創立百二十周年を迎えました。

当会が刑務所出所者等の収容保護事業を継続してきた歴史は、多くの方々や関係機関・団体に支えられた百二十年でありました。この紙面をお借りして感謝を申し上げますとともに、今後とも一層の御理解・御協力をお願いいたします。

なお、当会では創立百二十周年の記念事業の一環として、記念誌の発刊を予定しております。

秋 田 県 更 生 保 護 女 性 連 盟

「法務大臣感謝状・日本更生保護女性連盟会長表彰」受賞を祝つ会

八月七日にホテルメトロポリタン秋田にて佐々木康志秋田保護観察所長様、畠山清寿企画調整課長様ご臨席の下、四名の受賞者に出席いただき開催いたしました。席上日本更生保護女性連盟会長千葉景子様のどんな困難な状況下でも、更女のほうっておけないおせっかいの精神は途切れることなくこれからも脈々と受け継がれていくものと信じております。これから後も後に続く会員の指南役として活躍願いますというメッセージが披露されました。

「東北地方更生保護女性会員研修会」

十一月十日、コロナ禍にあっても会員の活動の維持と充実を図るべく、オンラインによるテレビ会議方式で各県保護観察所を会場に開催されました。秋田県からは東北地方更生保護女性連盟太田宥子会長始め十一人の会員が参加しました。「地域との連携・協働活動推進地区」では、横手地区更生保護女性の会大和谷道子会長が横手市社会福祉協議会と連携協働した「いきいきサロンでのミニ集会」「よこて父ちゃんの学校」の活動発表をいたしました。

講評として、更生保護の心で、ピンチをチャンスに、自由かつしなやかに、できる活動を少しずつでも繋げていこうと締めくくられ、次年度青森県での再会を願ひ閉会しました。

秋 田 県 就 労 支 援 事 業 者 機 構

平素から、当機構の活動に対し、御理解と御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響から、当機構につきましてもなかなか思うような活動ができない状況にあります。

そのような中、例年、秋田刑務所において開催されております職業訓練見学会が本年10月1日に開催され、当機構からも参加しました。例年との大きな違いは、新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から、参加者数の制限が設けられた点です。職業訓練見学会は、日頃刑務所で行われている訓練の様子を見ることができる貴重な機会です。来年度は従来どおりの開催を予定しており、より多くの協力雇用主の方に御参加いただけることを願うものです。

さて、一昨年度から御案内しているところですが、当機構では、秋田県版の協力雇用主パンフレットを作成しております。

このパンフレットには、新たに協力雇用主への登録を希望される事業主の方に向け、協力雇用主制度の趣旨説明、協力雇用主が利用できる就労支援メニュー等の概要説明を掲載しています。

パンフレット御希望の方がいらっしやいましたら、御遠慮なく事務局までお申し付けください。

秋 田 県 BBS 連 盟

前号の原稿を書いた時期は緊急事態宣言こそ解除されていたものの、世の中全体が自粛ムードに覆われ、さまざまな活動が休止に追い込まれていました。

それでも、その状態がこれほど長く続くとは、当時はおそらく思っていなかったと思います。漠然と「いつまで続くかわからない」と感じていたものの、半年後この原稿を書くときにも何か特別なことをかなければいけないとは思像していなかったというのが正直なところです。

順当なら来年度の東北地方BBS大会は本県で行われる予定でした。来年度の開催をどうするか。やるとすればいつやるのか。どこが受け持つのか。今年度主管するはずだった山形をスキップするのか、スライドするのか。東北地方B連の中で、これらについての話し合いをほぼ1か月おきに行ってきた。ただし、リアルでの開催は難しいため、ウェブ会議システムによるオンライン開催です。

必要に迫られ、会議の形も大きく変わりました。実際に会わなくても、デジタルデバイスがあれば、お互いの顔を見ながら話すことができます。これからのともだち活動、更生保護活動にもデジタル化の波が押し寄せるのでしょうか。

新しい年が平穏でありますことを願ひ、結びの言葉といたします。

秋田保護観察所

CFPを活用した保護観察について

これまででは保護観察を実施するにあたり、対象者の再犯(再非行)を防ぐためにどれくらい手厚く関わる必要があるのか、何を指導(支援)する必要があるのか、またどのような関わり方を必要とするのか等、保護観察官がアセスメント(見立て)を行うための体系的な手法が確立されておらず、処遇方針の決定が個々の保護観察官の経験や力量に左右されてしまうことがありました。

そこで令和三年一月から、犯罪者の再犯防止等に関する理論的・実証的根拠を踏まえて開発されたアセスメント(見立て)を行うためのツール「CFP」(Case Formulation Probation / Parole S略)を活用した処遇を本格実施することとなりました。

CFPの主な内容は

- ①再犯又は再非行の統計的確率の高さを評価する
- ②「問題」と「強み」とをとりまとめる
- ③犯罪・非行に至る過程と改善更生を促進する要因を分析し処遇方針の決定と保護観察の実施計画に反映させる

具体的には、保護観察の実施計画と保護観察経過報告書(甲)の様式が変更となります。さらに処遇区分がS・A・A・B・Cの五段階となり、類型の区分に新たに「ストーリー」「特殊詐欺」「嗜癖的窃盗」が加わり、逆に「校内暴力」が無くなります。

CFPについては令和二年度第三期定例研修でも取り上げておりますが、保護司の皆様におかれましてはご理解とご協力をお願いいたします。

立ち直れる。その思いをツナグ。

立ち直り応援基金

犯罪や非行をした人たちが再び同じ過ちを犯さないようにするためには、彼らが孤立することのないよう、地域全体でその立ち直りを支えていくことが重要です。官民が一体となってこの支援に取り組むことで、再犯を防止し、安全・安心な地域社会づくりにつなげることができます。

現在も、保護司、更生保護女性会、BBS会、更生保護施設、協力雇用主、更生保護協会等、多くの更生保護関係者や民間団体が、再犯防止と犯罪や非行をした人たちの立ち直りに向けた支援に尽力されていますが、その財政基盤は脆弱であることが多く、これらの関係者等の熱意のみによって、地域における立ち直り支援の活動が行われていることも少なくありません。これらの活動を、将来にわたって持続可能なものとしていくためには、より多くの方々に、こうした活動についての理解を深め、支え手として加わっていただき、立ち直りに向けた活動の運営基盤をより強化していく必要があります。

立ち直り応援基金は、犯罪や非行をした人たちの立ち直りに賛同してくださる方々の思いと、民間団体の草の根の活動とを結び、未来に向けて、新たな被害者も加害者も生まない、安全・安心な地域社会を築いていくことを目的としています。

立ち直り応援基金は、法務省の監督のもと、日本更生保護協会が管理・運営を行っています。立ち直り支援に賛同する思いと、立ち直り支援への助成を必要とする団体とをつなぎます。

寄附をお考えの方へ

インターネット等を通じて、1口1,000円から誰でも気軽に寄附することができます。

○クレジットカード寄附

○銀行振込寄附

の2つの方法があります。詳しくは、このQRコードから「立ち直り応援基金」のホームページにアクセスしてください!

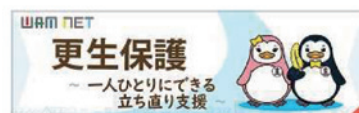


※QRコードを読み込むと、独立行政法人福祉医療機構が運営する、福祉・保健・医療の総合情報サイト「WAMNET」のページにアクセスします。

立ち直り応援基金

検索

または「立ち直り応援基金」で検索!



優秀賞

日本更生保護女性連盟会長賞
北秋田市立鷹巣小学校6年
本城谷 雅

「人のつながりの大切さ」

第70回社会を明るくする運動
作文コンテスト全国入賞
おめでとう!!

一筆啓上

「設立七十周年記念事業を

開催して」

湯沢地区保護司会

会長 齊藤 茂美

昭和二十五年（一九五〇）に保護司法が制定され、司法保護委員が保護司となり、湯沢地区保護司会が結成しました。それから七十年経ち現在に至っていることは、先人の方々の平坦ではないご努力と、関係各位の長年のご指導のおかげと感謝申し上げます。この周年事業は十数年前から案が出ておりましたが機会に恵まれず、一昨年初の役員会で実施が決定し、その六月に七十周年記念事業実行委員会を設置して準備を重ねて参りました。地区会としては初めての周年事業であり、感慨深いものがあります。

令和二年十月十七日、講演は青葉城恋歌で知られる仙台市在住の保護司さとう宗幸さんで、ギターを手に歌とトークを皆様に満悦して頂きました。人・地域のふれあいを大切に、歌は数十年変わらず丁寧に歌い、保護司の基本の心を気付かせる内容でした。

記念式典には、秋田保護観察所 佐々木所長様始め湯沢市・羽後町・東成瀬村の各首長様やご来賓多数のご出席を頂き、七十年の歴史を祝しました。今後共、皆様のご協力をお願いし、更生保護活動に努力して参ります。

湯沢地区保護司会70周年記念式典



齊藤会長あいさつ



ホゴちゃんがお出迎え



さとう宗幸氏によるトーク・ミニコンサート

『ふれあいの時を求めて』



「コロナ禍における更女会活動」

美郷地区更生保護
女性の会 会長 石田 重子

令和二年、年明け早々新型コロナウイルスに国中が騒然とし、その後世界中を恐怖に陥れました。そんな中どういった活動ができるのか役員会で話し合い、結果急な変更や中止も止む無しと、六事業を開始しました。

①七月一日絵本の寄贈『コウ君の黄色い羽根』の絵本を町内三つの小学校の図書活動に役立てて頂く。八月発行の町広報へ寄贈の事が掲載され更女の活動を広く知って頂く機会となりました。

②七月二日挨拶運動。美郷中学校六郷高校で登校時、薬物禁止パンフレットとティッシュ五〇〇部を手渡し挨拶を交しながら健やかに育つよう祈りました。

③七月十五日ブルーベリー摘取体験サポーター。コロナ禍でバスに乗って外で活動するのは今年初めてという園児百数十名が、黒川農園さんで果実を頬張り楽しみました。

④八月三日、十九日子育て支援。新規事業として『みさポット児童クラブ』に登録。生活支援員が不足しがちな小学生の長期休み中、学習の見守りを行いました。

⑤十月二十六日至仁会調理奉仕。秋の収穫をメインに献立。きつと美味しく食べて頂けたと思います。

⑥年三回資源回収を行い活動資金としました。

今後皆様も少しでも幸せになるお手伝いができたらと思います。

保護関係者顕彰式

秋田県更生保護大会)

本年度は新型コロナウイルス感染症防止のため第53回秋田県更生保護大会が中止となりました。表彰者に対する伝達は各地区保護司会、更生保護女性の会で行いました。受表彰者の皆様おめでとうございます。



秋田地区更生保護女性の会
(11月25日 東部市民センター イーパル)



秋田地区保護司会
(11月20日 秋田市文化会館)



男鹿地区保護司会
(12月3日 男鹿市文化会館)



臨港地区更生保護女性の会
(12月1日 飯島コミセン)



本荘地区保護司会
(12月10日 西目公民館シーガル)



潟上湖東地区保護司会
(12月17日 昭和コミセン レイクプラザ昭和)



令和2年度 秋田県更生

(第53回)



令和2年度
大館地区更生保護関係者顕彰式
令和2年12月10日 於 北秋くらぶ

大館地区保護司会
(12月10日 北秋くらぶ)



更生保護関係表彰受賞記念祝賀会

能代地区保護司会
(11月26日 プラザ都)



更生保護関係者 表彰伝達式

鹿角地区保護司会
(12月8日 エスポワールかづの)



北秋田地区保護司会
(11月24日 市民ふれあいプラザ)



湯沢地区保護司会
(12月14日 湯沢グランドホテル)



横手地区保護司会
(12月16日 松與会館)



角館地区保護司会
(11月30日 グランデールガーデン)



大曲地区保護司会
(11月27日 神岡農村環境改善センター)





秋の叙勲・褒章

(令和二年十一月三日)

令和二年度秋の叙勲及び褒章を受けられました管内の更生保護関係者の方々は、次のとおりです。
永年の御功労・御功績によりめでたく受章されました皆様は心からお祝いを申し上げますとともに、なお一層の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。

(敬称略)

瑞宝双光章

(更生保護功労)



齊藤 茂美
(湯沢保護区)



藤本 得夫
(角館保護区)

藍綬褒章

(更生保護功績)



奈良 光英
(鹿角保護区)

更生保護以外の功労

瑞宝単光章

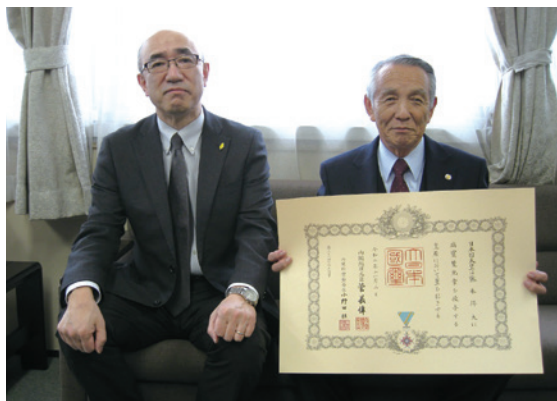
(矯正業務功労)

渡邊 幸智
(秋田地区保護司)

叙位

従六位 (令和2年7月18日付)

岩館 祖芳 (鹿角)



藤本得夫保護司へ叙勲伝達(12月18日所長室にて)

保護司の異動

依願解嘱

(令和2年8月31日付)

(敬称略)

高田 誠 (能代)

(令和2年9月30日付)

河村 廣健 (能代)

(令和2年12月31日付)

草薨 智良 (大曲)

児玉 賢一 (鹿角)

任期満了 (令和2年12月31日付)
次の方々が保護司を退任されました。長年の御尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後の御健勝を

祈念します。

(敬称略)

嵯峨 成子 (秋田(東))
菅原 琢哉 (秋田(臨港))
佐藤 正憲 (大曲)
佐藤 清子 (北秋田)
黒澤 明子 (横手)
小山田 吉伸 (大曲)
小松 晃 (大曲)
藤原 由悦 (大曲)

新任 (令和3年1月1日付)

次の方々が委嘱されました。よろしく願います。今後の御活躍に期待します。
(敬称略)

大山 智寛 (秋田(中央))
岡本 由美子 (秋田(臨港))
小野 美香子 (秋田(臨港))
佐々木 佳奈子 (秋田(臨港))
真田 恭子 (秋田(臨港))
平川 修 (能代)
宮腰 富紀子 (能代)
内藤 英子 (能代)
木村 理子 (大曲)
丸井 俊雄 (大曲)
工藤 知佳子 (北秋田)
武石 量之 (鹿角)
伊藤 則行 (湯沢)
住谷 達 (湯沢)
三沢 知子 (湯沢)
大沢 和浩 (大曲)
佐々木 隆 (大曲)
高橋 宗生 (大曲)

編集後記

皇紀二六八一年
佛紀二五八七年
西紀二〇二一年
令和三年・辛丑平年
明けましておめでと〜ございます

慈愛 釈迦牟尼佛の言葉に「あたかも母が己が独り子を命を賭けても護るように、そのように一切の生きとし生けるものに、無量の慈しみの心を起こすべし」とあります。人間はもとより鳥獣に至るまで、親は子を護り育てる事に懸命です。各々に具わるところの慈悲の佛性が、そうさせるものと思います。

櫻田

編集委員

櫻田 元宏 (編集委員長)
加賀谷文秋 新野 建臣
北林 暢子 伊藤 妙子
畠山 清寿 金森 直子
菊地 皆美

第54回 秋田県更生保護大会

令和3年
11月11日(木)
秋田市文化会館(大ホール)
にて開催されます